

## コロナ感染防止対策ガイドライン

- 1 日本体操協会と福岡県高等学校体育連盟の、大会開催（実施）に向けた感染拡大防止ガイドラインに則り、対応する。
- 2 参加受付時
  - ・選手、監督、コーチ、役員、観客は自宅での検温、入場の際に記名、検温実施後（37度未満）入場とする。
- 3 選手、監督、コーチ、役員へのお願い
  - ・随時の手洗い、消毒が必要である。発熱が確認された場合は参加させない。
  - ・器具や炭酸マグネシウムなどの消毒は無理であるので、選手が手洗いする必要がある。
  - ・選手以外はマスクを着用する（選手は競技中やウォーミングアップ以外は着用する）。
  - ・個人のもの（手具、プロテクターなど）は必ず、本人が管理する。
  - ・応援に関しては、体操競技は選手1名につき2名までの応援は可、新体操男子は会場の規模を考慮し無観客。新体操女子は選手1名につき1名とするが、応援選手の演技前に入場し、演技が終了したら退場すること。
  - ・チームメイトの応援は、大声を出さず拍手のみで行うようにする。ハグやハイタッチ・握手はしないこと。
  - ・更衣室は一斉に更衣すると密となるので、人数を考慮し、少人数で入れ替わり更衣すること。
- 4 主催者が取り組むこと
  - ・器具セッティングの際の密の回避、消毒の徹底を行う。現在では一番感染リスクが大きいのは、セッティングとカットインであるため密に注意させる。
  - ・会場の窓は全開にする。
  - ・審判席、選手席等のソーシャルディスタンスをとる。
  - ・選手の人数などを考慮し、大会日程を決定する。大人数が一同に集まる日程にしないよう主催者が工夫する。会場内に待機しなくてはならないような日程は組まず、入れ替え制などを取り入れる。
  - ・手指消毒用アルコール・消毒用のアルコールやペーパータオルなどを準備する。
  - ・開会式、表彰式、閉会式など選手を一同に集める式典は基本的に行わない。
  - ・大会が同会場で2日以上ある場合は初日終了後、椅子や机などの消毒を行う。
  - ・その他、3密を避ける方策を各大会・会場で工夫する。
- 5 その他
  - ・種目の特性上、密になりにくい種目であるが、新体操男子での組体操、新体操女子団体の手具の受け渡し等感染リスクが生じる場合があるが、演技終了後直ちに手洗いをしする。